



岩内町立岩内第一中学校  
目指す生徒像  
自ら考え正しく判断する人  
自ら学び創造性に富む人  
自ら鍛え粘り強く実践する人

# 役立たない勉強など何一つない

## 【勉強＝テストのため】という狭い範囲だけではなく…

『なぜ、勉強しないといけないのか・・・』

いつの時代も子ども達の悩みの1つは、『なぜ、勉強しないといけないのか?』がある。今回はその理由のヒントを2つ紹介したいと思います。生徒の皆さんも是非、読んでください。

まず、1つ目は「走れメロス」で有名な太宰治(だざいおさむ)が、約80年前に小説『パンドラの匣(はこ)』の中で、次のように述べています。

「(～略～)、代数や幾何の勉強が、学校を卒業してしまえば、もう何の役にも立たないものだと思っている人もあるようだが、大間違いだ。植物でも、動物でも物理でも化学でも、時間の許す限り勉強して置かなければならぬ。日常生活に直接役に立たないような勉強こそ、将来、君たちの人格を完成させるのだ。

(～略～)、学生時代に不勉強だった人は、社会に出てからもかならずむごいエゴイストだ。学問なんて、覚えると同時に忘れてしまってもいいものなんだ。けれども、全部忘れてしまっても、その勉強の訓練の底に1つかみの砂金が残っているものだ。これだ。これが尊いのだ。(略)」

※ 新潮文庫 『パンドラの匣(はこ)』より

2つ目は今年6月、ミュージシャンの「あのちゃん」がテレビ朝日公式YouTubeチャンネルの中で、冒頭、プロデューサーから「質問が届いている」と言われ、「勉強する意味がわからないのでやりたくないです。なんでやらないといけないんですか?」と、相談を受けたあのちゃんがズバリ回答したものです。

「やらないといけないって事はないと思いますけどね」と言うと、「でも、勉強ができないと、大人になって圧倒的にバカにされる回数が増えます」とコメント。そして「世の中の事が何も分からないので、生きづらいです。それは事実」とも加えた。「それが嫌なら、今のうちに勉強しておくのと楽だと思います」と呼びかけ「あとは自由です」とした。

あの太宰治も現代のあのちゃんも勉強の意義を“勉強＝テストのため”という狭い範囲ではなく、社会人になってからのことを含め、もっと深く広く考えていました。あのちゃんの回答の中で「世の中の事」とは常識(生活マナー)やルール等、「生きづらい」というのはトラブルに巻き込まれたり、自らの主張が受け入れてもらえないこと等と置きかえると子どもたちにはより理解しやすくなるかもしれません。

今回、紹介したお二人は、学生時代に色々な物の見方、考え方を勉強することで、“将来にわたって生活(人生)が充実する”と、勉強することの意義や尊さを説いています。

他にも勉強をする理由については様々な意見があると思いますが、皆様のヒントになれば幸いです。

# 令和5年 11月の行事予定表

# 一中生の活躍【運動・文化】

日	曜	行 事	部活
1	水	スクールカウンセラー来校日 町教研	○
2	木	分掌部会	×
3	金	文化の日	
4	土		
5	日		
6	月	給食費口座振替日(再)	○
7	火	職場体験発表会	○
8	水	学力テスト総合C(3年生)	○
9	木	テスト前強化週間 学年部会	×
10	金	中文連音楽祭(岩内) 非行防止教室	○
11	土	町P球技大会(会場:-中、二中)	
12	日		
13	月	テスト前部活動中止 運営委員会	×
14	火	テスト前部活動中止 町教研 定時退勤日	×
15	水	テスト前部活動中止 定時退勤日	×
16	木	2学期末テスト① テスト前部活動中止 職員会議	×
17	金	2学期末テスト②	○
18	土		
19	日		
20	月	一斉専門委員会	○
21	火		○
22	水		○
23	木	勤労感謝の日	○
24	金	学年部会	○
25	土		
26	日		
27	月	得点通知表配布日(全年)	○
28	火	三者面談①	○
29	水	三者面談② スクールカウンセラー来校日	○
30	木	公開研究会(5時間目) 給食費口座振替日	×

「後志中文連英語暗唱大会(ニセコ)」(敬称略)  
 ●優秀賞 3年 高見陽詩 ●努力賞 3年 竹内夏葵  
 ●努力賞 2年 高屋りさ ●努力賞 2年 竹内悠真

「第42回 全国中学生人権作文コンテスト」受賞者  
 【札幌地方大会(倶知安地区大会)】(敬称略)  
 ●優秀賞 加藤夏映良「自分でいる権利」  
 ●入選 工藤太輝「人を尊重する社会へ」  
 ●入選 滝本ここみ「人々の性のありかたについて」  
 ●入選 田中心春「喘息バッチで不安を軽減」

「第73回 社会を明るくする運動作文コンテスト」受賞者  
 ●保護司会会長賞 土居祐輝「病死の少ない社会作り」  
 ●保護司会会長賞 高橋愛心「笑顔の羽根へ」  
 ●保護司会会長賞 小田愛音「自分の一歩から」

「第19回 岩宇児童生徒俳句大会」受賞者(敬称略)  
 ●共和町長賞 千葉結花「砂浜でサングラスかけ大人ぶる」  
 ●神恵内村長賞 工藤太輝「夏詣静まりかえる神の道」  
 ●岩内町教育委員会教育長賞 土田なつみ「一杯の麦茶に入れる氷の音」  
 ●共和町教育委員会教育長賞 杉山あこ「向日葵が気付けば私と同じ丈」  
 ●岩内ユネスコ協会会長賞 田中悠馬「笛の音に喧騒混じる夏祭り」

【陸上部】第41回北海道中学校駅伝競争大会 40チーム中 男子21位  
 (敬称略)(三好輝空、金本椋、平村柁弥、今泉陸、金本倭、澤田蒼生)

【バスケ部】第1回山下杯バスケ大会兼新人大大会南大会小樽地区予選会  
 女子 優勝 男子 初戦敗退

【卓球部】第46回 卓球スポーツ少年団卓球大会  
 2年の部 1位 国本海音 (敬称略)  
 1年の部 2位 清川和希、1年の部 3位 山本翔太

町民ロードレース (敬称略)  
 中3男子の部【1位 今泉陸 2位 澤田蒼生 3位 平村柁弥】  
 中2男子の部【1位 三好輝空 2位 金本倭】  
 中2女子の部【2位 森下ユリア】  
 中1男子の部【2位 高松歩夢 3位 土居祐輝】  
 中1女子の部【1位 押方柁恋 2位 及川真央】

「第35回有島武郎青少年公募絵画展」(敬称略)

賞名	学年	氏名(敬称略)	作品名
審査委員特別賞	3年	菱沼 夕楓	「煌めく万緑」
入選	3年	加藤 夏映良	「祖父のぬくもり縫いつけて」
入選	1年	堀 芽生	「つれたそーつ!」
入選	1年	藤江 結衣	「風ゆらぐ夏」
入選	1年	田中心春	「心に差し込む陽光」
入選	1年	上野 心椿	「幸せの温もりを抱いた小さな弟」
入選	1年	吉田 愛理	「ほほ笑みの先に見えるものは」
入選	1年	鈴木 愛来	「歳の数だけうれしさを」

「北海道原子力防災カレンダー2024絵画展」

賞名	学年	氏名(敬称略)	作品名
最優秀賞	3年	菱沼 夕楓	「碧流見えし方舟下」
優秀賞	3年	加藤 夏映良	「雨しみる風情」
優秀賞	3年	濱崎 結衣	「振り向けば春そこに」
優秀賞	1年	鈴木 愛来	「見慣れたままの場所」
優秀賞	1年	梅村 真結	「岩内のほこり」
優秀賞	1年	平野 友菜	「穏やかで安心できる場所」
優秀賞	1年	堀 芽生	「この街を彩る淡紅色」
佳作	1年	藤江 結衣	「潮香る故郷の漁場」
佳作	1年	吉田 愛理	「行き交う友情と散りゆく花卉」
佳作	1年	田中心春	「町の象徴と共に」
佳作	1年	上野 心椿	「次の風にとって」
佳作	1年	宮原 りお	「私たちの特別」



## 「恭敬学園中学生イラストグランプリ2023」

【イラストレーション部門】

賞名	氏名(敬称略)	作品名
金賞	加藤 夏映良	「風呂上がりの一発」
金賞	堀 芽生	「ゆるやかに沈む奇人」

【キャラクターデザイン部門】

賞名	氏名(敬称略)	作品名
奨励賞	鈴木 愛来	「びっちゃん警察」